

第 21 号

みんながつづる 牡鹿半島の豊かなくらし

いんふ、お鹿おしか

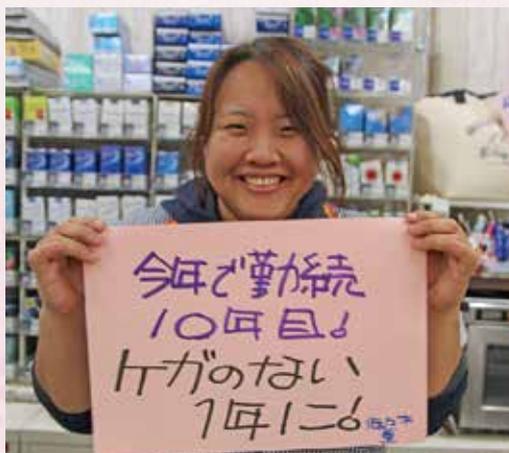
1
2018



金華山 外海側 大函崎



あけましておめでとうございます
 成年の皆さん 今年の抱負



いつもより人数は少なめ…でも、ゴミは大量!

道路も浜も「ゴミ拾い」

県道2号線の「ゴミ拾い」

牡鹿半島ネットワーク協議会が主催する第11回県道そうじが、12月10日に行われ、多くのゴミを拾い集めました。

これまでは、牡鹿総合支所の協力により、拾い集めたゴミはすべて牡鹿クリーンセンターで処理されてきました。県道そうじは今後も続きますが、牡鹿クリーンセンターが12月で閉鎖されたため、今後のゴミ処理について別の方法を検討、調整しています。

月に一度の浜のおそうじ



あっという間に、大量のゴミが集まりました

12月16日は、石巻海さくら主催の浜のそうじが狐崎浜で行われ、県内外から多くの人が集まりました。一度、夏にゴミ拾いをしていた場所でしたが、台風の影響により、再び多くのゴミが漂着していました。街中や川に捨てられたゴミが、巡り巡って浜に漂着することがしばしばあります。

私たちの想像以上に、人の営みは自然と繋がりががあります。環境に配慮する、少しの心がけを持つ人が増えて、ゴミを減らしていくとよいですね。

第54回「石巻地区中学校生徒弁論大会（石巻教育研究会国語研究会中学校部会主催）」が平成29年10月6、7日に開かれました。

生徒たちは、学校や家庭、地域社会での体験に基づき、自らの目標や決意、社会への提言を発表しました。今回は、牡鹿と自分の未来について発表した平塚香里奈さんの主張を紹介します。

未来への道のり

牡鹿中学校 1年 平塚香里奈

「これからの自分に、出会う旅」
こんなキャッチフレーズのもと、今年の七月から九月まで、「リボンアート・フェスティバル」が開催されました。このお祭りは「アート」「音楽」「食」を楽しむことのできる新しいお祭りというコンセプトでした。石巻中心市街地と牡鹿半島で、国内外の現代アーティストたちの作り上げた作品が展示され、さまざまな音楽イベントが開催されました。

さらに、ここでしか味わえない食事をいただくこともできました。リボンアートとは、東北の「再生」を目指すだけではなく、参加する全ての人、それぞれの再生を願うお祭りだったそうです。

私の生まれ育った牡鹿半島は、

東日本大震災で大きな被害を受けました。当時、私は六歳でした。

以前の美しく、活気に溢れた牡鹿の記憶と、震災後の牡鹿のどちらも知っています。震災前の牡鹿に戻ってほしいという気持ちもありますが、これからの牡鹿を作りたいという気持ちの方が強くあります。まさに、「再生」を願っているのです。

リボンアート・フェスティバルが開催されると知った時、「どんなお祭りになるのだろう」とワクワクした気持ちになりました。そして、「中学生になった私に、何かできることはないだろうか」と考え始めました。しかし、考え

ても、考えても、良い考えが浮かばなかったのです。そこで、お客

さんとして参加し、今後の再生のヒントを探すことにしました。

私が特に感動し、心を動かされた企画がありました。それは、「アート」の分野で展示されていた、様々な作品です。

その中でも、御番所公園に展示された、草間彌生さんの作品を見た時、私は胸がいっぱいになりました。草間さんの作品は、「真夜中に咲く花」という題で、独特の色や模様が施された、花のアートでした。

「とてもきれいで、不思議な感じがする・・・」と思った時、ふと後ろの景色に目がきました。そこには、力強く立っている「金華山」が見えました。

「作品を展示する場所にも、牡鹿の良さを伝える工夫がされていたのだ・・・」

まるで、金華山も作品の一部のように、美しく見えたのです。この工夫に気付いたのは、私だけではありませんでした。御番所公園には、遠方から多くの観光客が来ていました。皆さん、「わあ、金華山だ」「牡鹿半島ってすごく綺麗な場所なんだ」「置く場所も工夫

されているね」と、感動を言葉にしていました。

この光景を目にして、人々の声を聞いて、改めて「再生」への一歩を踏み出していると私は実感しました。

リボンアートに参加して、私なりに再生のヒントを得ることができました。例えば、作品が展示されている場所それぞれに、スタンプラリーを設置することです。スタンプを集めると、お店の割引券になるなどの企画を行えば、もっと多くの人に石巻・牡鹿を知ってもらえるきっかけになるのではないかと考えました。

他にも、私たちが地域のためにできることはたくさんあるはずですよ。お祭りのような大きな行事だけでなく、小さなことでも、再生の一步に繋がります。

震災から、もうすぐ七年。私は、未来への道のりを歩き始めます。



11月29日

イメージを音で楽しむ

日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが鮎川小学校を訪れ、子どもたちとワークショップを楽しみました。子どもたちは5つのグループに分かれて、無限(∞)のマーク、丸や三角の形のイメージを、協力しながら思い思いの楽器で音を作り上げ、音楽の楽しみ方を広げる体験をしました。



12月8日

サッカー 大好き!

女川のサッカーチーム、コバルトレ女川の選手が、牡鹿地区保育所を訪れました。元気いっぱい子どもたちは、ボールの扱いを教えてもらい、ゲームに挑戦しました。先生たちの大人チームとの試合で、見事ゴールにボールを入れた子どもたちは歓声を上げ、本当に嬉しそうでした。



11月14日

みんなとっても上手

寄磯小学校の児童3・4年生、5・6年生は、書き初めに取り組みました。鮎川浜の加藤進先生による筆使いの説明の後、どの子も真剣に用紙に向かい、「山上」「平和」「大空」「希望」の文字をとっても上手に書き上げました。子どもたちは名前の最後の1画を書き終えるまで、集中力を切らさず書き上げました。



12月17日

自分とみんなを元気に

地域で楽しいことをしたいと、フラダンス愛好会が昨年10月に20名で結成されました。音楽に合わせて腰を揺らし、難しいステップに悪戦苦闘しながら、楽しく練習をしています。講師はハワイ出身のデイ先生です。毎月第3日曜日、午後2時から清優館で練習しています。興味のある方は、ぜひ見に来てください。



12月18日

手打ちの格別な味わい

東北電力㈱の松田広幸先生の指導により「そば打ち教室」が清優館調理室で開催され、こしのある美味しいおそばが茹で上がりました。参加者は5つのグループに分かれ、工程ごとに、説明を受けながら作業を進め、力の要るこねる作業は男性がするなど、普段とは違う姿(?)も見受けられました。



1月29日まで

「おしかぐらし」展 開催中

東北学院大学の学生が手がける、文化財レスキュー活動を紹介する「おしかぐらし」展が情報交流館で開催されています。昔の漁に使用した道具と体験談が紹介されています。また、プロカメラマン大澤泰紀さんが撮影した熊野神社例大祭の写真が展示されています。ぜひ、足を運んでみてください。



おしらせ 健康増進講習会の開催(緊張をほぐすエクササイズ)

日時：平成30年2月2日(金) 午後1時から3時まで
場所：石巻市牡鹿保健福祉センター 清優館 大ホール

健康づくりで生活を豊かにし、地域で活躍してゆこう!

参加費：無料
持ち物：動きやすい服装、上履き(運動靴等)

編集後記

あけましておめでとうございます。本当に寒い日が続いていますが、今年も健康に留意をして、牡鹿を盛り立て、みんなで良い年に行きたいと思います。

☎986-2523 石巻市鮎川浜寺前18-2 tel:0225-98-8491

「ござい〜ん!牡鹿へおいでよ!」<http://info-oshika.jp/index.html>

編集・発行：石巻市牡鹿地区復興応援隊 いんぷお・おしか発行室
発行部数：2,000部

